

## ■ブリーフセラピーの養成・訓練 にみられる「まじわり」 ■

ーブリーフセラピーを教える者と教わる者の対話ー

日時: 2013年8月25日(日) 10:00~12:00  
会場: パシフィコ横浜 313+314会議室(定員150名)  
日本心理臨床学会第32回大会秋季大会 自主シンポジウム

1

## 企画者

- 長谷川明弘(東洋英和女学院大学)
- 鈴木義也(東洋学園大学)
- 相模健人(愛媛大学)

2

## 企画趣旨

- 1990年代半ばに本格的に国内へ紹介されたブリーフセラピーは、大学・大学院だけでなく、全国各地で研修会が開催されて、養成・訓練が行われている。
- 養成・訓練は、海外の実践や近接領域のアプローチを参考にしながら行われているのが実態である。そこで今回は、養成・訓練の場で、教える側と教わる側の関わりの中から何が提供され、何を学んでいるのかについて焦点を当てていきたい。

3

## 企画趣旨

- このシンポジウムを契機に、教える側は何を教わる側に受け渡そうとするのが望ましいのか、教わる側は何を受け取るのが望ましいのかを考えながら、新たな「ブリーフセラピー」の学びが構築していくことに繋がればと考えている。

4

## 話題提供

- 鈴木義也(東洋学園大学)  
ー役に立つ認識論の学び
- 相模健人(愛媛大学)  
ーチームアプローチを用いた相談研修
- 長谷川明弘(東洋英和女学院大学)  
ー養成での工夫ーライブ感覚を大切にー
- 高橋亜耶可(神奈川県小学校教諭)  
ー教育現場におけるブリーフセラピーの活用

5

## 指定討論

- 北村 文昭(青山学院大学)
- 吉田 京子(愛媛県八幡浜市スクールライフアドバイザー)

6

## タイムスケジュール予定

- 10:00～10:10 シンポジウム趣旨説明
- 10:10～11:10 話題提供(お一人15分×4)
- 11:10～11:20 5-10分休憩
- 11:20-11:40 指定討論(お一人10分×2)
- 11:40-11:55 自由討論(フロアから含めて)
- 12:00 終了

7

## 養成での工夫

ーライブ感覚を大切にー

長谷川明弘(東洋英和女学院大学)  
日時:2013年8月25日(日)10:00～12:00  
会場:パシフィコ横浜 313+314会議室(定員150名)  
日本心理臨床学会第32回大会秋季大会 自主シンポジウム  
フリーセラピーの養成・訓練にみられる「まじわり」  
ーフリーセラピーを教える者と教わる者の対話ー

8

## 教育は翻訳の一形態

Steiner G. 2003 Lessons of The Masters (師弟のまじわり)

- tradition[(英)伝統・伝達]という言葉は
  - treason[(英)裏切り]
  - traduction[(仏)翻訳・解釈・虎の巻]
    - という言葉と語源を共有している
- 伝達する(ラテン語tradere)
- 翻訳(ラテン語translatio)
- 受け継がれたところのこと(ラテン語traditio)

9

## 師から学ぶこと、伝達すること

- 師から学んだことを翻訳し、次の世代に引き継いで行く行為はどんなことか
- ブリーフセラピーの場合の  
知識と技術・技能の継承の実態
  - ブリーフセラピーの理論
  - ブリーフセラピーに基づいた実践

10

## 本日の流れ

- ブリーフセラピーを学ぶ方や対人支援職養成の折のころ構え
  - 養成形式の違いなど
  - 対人援助職の3タイプ
  - ブリーフセラピーと「トヨタ生産方式」の共通点
  - 正師との出会い
- 講義や研修会での実際と工夫
  - 知識と技術・技能の伝達
- 指導生・受講生からのコメント

11

## 養成形式の違い(長谷川,2007)

### 職人養成形式

- 熟練の専門家(職人・師匠)
- 学ぶ側は少数
- 手探りで修得すべき事柄(型)を探し出して、学び取っていく

### 専門職養成形式

- 教育する側が学習内容を提供
- 一定の型(あるいは枠組み)
- 学ぶ側が型に適合させる
- 学ぶ側に一定の技術を修得してもらう
- 大量に専門家を排出

12

## 対人支援職の姿勢(心構え)との共通性

- 職人養成形式と専門職養成形式の両者にわたる包括的でかつ柔軟な学び方
- 対人支援職が実際に仕事をしていく上での柔軟性が求められる業務の上での姿勢との共通性

13

## パイロットと基礎訓練 (長谷川,2008)

- パイロットはある程度の訓練を受ければ、それなりに航空機を操縦することができるという
- 面接の基本技能訓練(例えばマイクロカウンセリングなど)は、パイロットがそれなりに航空機の操縦をすることができる「ある程度の訓練」に相当する

14

## パイロットと職人になる心構え (長谷川,2008)

### 専門職に共通して求められる姿勢

- 『戦闘機乗りは、どんなに多くの味方がいてくれても、最後に頼るものは、自分以外にはない。このように考えて、私は、自分の精神、智能、体力をその極限と思われるところまで、鍛えに鍛えてみた。それは、辛いことであったが、こうしなければ私は空中戦に勝ち抜くことはできないと思ったからだ(坂井,1994)。』

15

## 他分野から貪欲に学ぶ姿勢 (長谷川,2008)

専門分野に限定しないで、どん欲に学んでいこうとする姿勢は、対人支援職が獲得した知識・能力・技能を十分に発揮する基盤になる

16

## 対人支援職やサービス提供の姿勢の3タイプ(長谷川,2011)

- 行為者(actor)
- 調整・整理者(arranger)
- 創造者(creator)

17

## 行為者(actor) (長谷川,2011)

### 対人支援職やサービス提供の姿勢の3タイプ

- 目の前の利用者ではなく自らの頭の中の理論(先人のやってきたこと)に沿って仕事を進める人である。今までに無い新たな相談内容には中々うまく取り組めない。前例が無い、ここは慎重にとつづやきながら、実践家自身のやり方にこだわってしまう。柔軟さを持ち合わせない人である。

18

## 調整・整理者(arranger) (長谷川,2011)

### 対人支援職やサービス提供の姿勢の3タイプ

- 先人のやってきた仕事(理論)をベースにしながら実践を行う人である。原則は受け身の方法に徹する。積極的な働きかけを回避する。最小限できることは受容と共感に徹するのみの人である。柔軟さの芽生えを感じているものの実行には躊躇している人である。

19

## 創造者(creator) (長谷川,2011)

### 対人支援職やサービス提供の姿勢の3タイプ

- 先人のやってきた進め方(理論)は勿論、基本に忠実な人である。眼の前の利用者に合わせて方法を新しく開発しようとする。専門家としての自覚に基づいて利用者が先々抱える、また利用者が諦めている課題・問題を予測し、利用者にとって必要だと判断した場合は積極的に対応する人である。

20

## ブリーフセラピーと「トヨタ生産方式」 の共通点(長谷川ら,2011)

- トヨタ生産方式は、平均値で現象を理解するのではなく**バラツキに注目**する
- 効率的な手順を分析する
  - 10回の中の一番短い時間(チャンピオン・タイム)に注目して分析して標準手続きにしようとする
    - ミルトン・エリクソンなど心理療法実践の達人のやり方に注目するブリーフセラピーとの共通点
  - 作業を10回行った上で平均値を標準手続きにするのではない
    - (大量データからの枝葉を切り取ったような)証拠に注目する認知行動療法との共通点が平均値に注目する姿勢?

21

## 正師との出会い 道元

- 「師の正邪に随って(したがって)悟の偽と真と有り(略)正師を得ざれば学ばざるに如かず」『学道用心集』
  - 曹洞宗の開祖である道元は、日本や中国で師を求め続けたという。正師は、あらゆる場面に見出すことができるとした。
- 「啐啄同時(そったくどうじ)」
  - 鳥の雛が卵から生まれ出るとき、親鳥が卵の殻を外側からつつく(啐)のと、雛が内側からついでむ(啄)ことが同時にでなければならない。

22

## 講義・研修の受講生からのコメント

23

## 講義や研修会の実際と工夫 -ライブ感覚を大切に-

1. 概論説明(理論的背景など) **知識**
2. 面接者チームとクライアント(家族)役決め
3. 事例提供(架空事例の場合あり)
4. 面接のデモンストレーション
  - 教員(講師)や受講生が面接者となる場合あり
5. 事例検討/コンサルテーション/ライブ・スーパービジョンを同時に行う **技術・技能**
6. 質疑応答 **姿勢**

24

## 受講生からのコメント

- トレーニングにおける師弟関係において思ったことは、トレーニングでは実践や実演あるのみと思った。スーパーヴァイザーとコ・セラピストが背後にいてリアルタイムで即座に修正やアイデア、指示・提案が飛び交い、実践的であると感じた。(M1受講生)
- 習得には、実践を繰り返すほかないのだとTh役をやってみて実感した。(M1受講生)

25

## 受講生からのコメント2

- 投げかけた疑問・感想に真摯にお付き合いいただきましたと思いました。担当教員が「教える-教わる」という単なる一直線のやりとりではなく、授業を共に作る専門家として受講生に接することで「やりとり」をくださったという、まさに身をもってブリーフセラピーの関係を示して下さいました。(M2受講生)

26

## ゼミ指導生からのコメント

27

## 指導生からのコメント1

- とても気さくで指導する立場にいらっしゃるにも関わらず人を上から見たりせず、学生の個性を尊重し受け入れて下さりました。
- 学生を一人の個の人間として対応して下さいるので、大学院の研究のみならず、学外の話題でも何でもお話出来る「臨床心理士」の鏡とも言える「絶対的傾聴、受容、評価をしない」を学生にもして下さいます。

28

## 指導生からのコメント2

- 印象的な先生の態度としては、自然な態度(先生自身がありのままであること)が感じられました。
- 私も特に緊張することなく、気負うことなくゼミや実習に参加できていると思います。
- 言葉で教えられるよりも、態度によって無言のうちに伝わるものの大切さを感じます。

29

## 師から学ぶこと、伝達すること まとめ

- 師から学んだことを翻訳し、次の世代に引き継いで行く行為はどんなことか
  - ブリーフセラピー(対人支援職)の場合の  
知識と技術・技能の継承の実態
    - ブリーフセラピーの理論
    - ブリーフセラピーに基づいた実践
- +
- 心構え・姿勢(職人と科学者)

30